

5 タウンミーティング

タウンミーティングは、「誰もが生きがいを感じ、自分らしく暮らしていける品川」の実現に向けて、区長と区民の方が直接語り合い、区民の方から寄せられた意見を、よりよい区政運営の参考にすることを目的として実施しています。

(令和6年度)

令和6年度は、「品川区こども会議」、「いま、防災を考える！」と題して、各2回の全4回実施しました。各回、参加者を3～5つのグループに分け、それぞれのグループテーマについて意見交換を行いました。また、話し合いの様子や意見を1枚の絵にまとめるグラフィックレコーディングを導入して実施しました。

事業名：みんなと区長のタウンミーティング

テーマ：第1回『子ども・若者が活躍するまち品川に向けて』

第2回『子どもの笑顔があふれるまち品川に向けて』

第3回『災害時に自分たちができること』

第4回『災害時の助け合いについて』

【第1回】

日 時 令和6年6月29日（土）午前10時00分～11時50分

会 場 品川産業支援交流施設 SHIP

参加者 中学生の区民20人

当日のグラフィックレコーディング



【第2回】

日時 令和6年9月7日（土）午前10時00分～11時50分

会場 品川歴史館

参加者 小学生と保護者6組14人

当日のグラフィックレコーディング



【第3回】

日時 令和6年10月26日（土）午前10時00分～11時50分

会場 エコルとごし

参加者 区内在住・在学・在勤の中学生以上の方15人

当日のグラフィックレコーディング



【第4回】

日 時 令和6年12月1日（日）午前10時00分～11時50分

会 場 品川区役所 災害対策本部室

参加者 区内在住・在学・在勤の中学生以上の方 24人

当日のグラフィックレコーディング

令和6年度 第4回：災害時の助け合いについて
みんなと区長のタウンミーティング
～いま、防災を考える！～
2024.12.1

～能登半島地震被災地支援から学ぶ～

品川区 ▶ 被災地へ

自助・共助の重要性

品川区の取り組み

災害時は、地域とのつながり、助け合いが非常に重要になります。ぜひ活動に参加し、品川区の共助を、一歩ずつよりよいものにしていきましょう！！

藤澤恭子 区長

A つながりの重要性は、災害時に活かすには？

つながりなくとも、助け合える関係性がある。

通学や地域の活動、お祭りなどでつながりを作ろう。

事故や災害が起きたら、助け合える関係性が活かせる。

まずは、自分から声をかけよう。

まずは近所とのあいだから、1回のイベントで少しずつ、つながりを作ろう。

B 防災を自分ごとにするには？

防災の責任は、自分自身にある。

家族や近所の人と、防災のことを話し合おう。

今日のことを、明日に引き継いでいこう。

防災の準備は、自分自身から始めよう。

自助・共助の重要性を、自分自身で実感しよう。

C 防災イベントに参加する意義は？

防災イベントに参加することで、地域の防災意識が高まる。

防災の知識やスキルを、自分自身で身につけよう。

防災の準備は、自分自身から始めよう。

自助・共助の重要性を、自分自身で実感しよう。

D 防災イベントに参加する意義は？

防災イベントに参加することで、地域の防災意識が高まる。

防災の知識やスキルを、自分自身で身につけよう。

防災の準備は、自分自身から始めよう。

自助・共助の重要性を、自分自身で実感しよう。

E 若者・高齢者を活かすには？

若者・高齢者を活かすことで、地域の防災意識が高まる。

若者・高齢者の知識やスキルを、自分自身で身につけよう。

若者・高齢者の準備は、自分自身から始めよう。

自助・共助の重要性を、自分自身で実感しよう。